

お客様各位

株式会社 山喜農園

新潟県魚沼市原1280-1

TEL. 025-794-2455

FAX. 794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp

HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

2013年産オランダ産百合球根

2014年産南半球産百合球根在庫表送付にあたり

(14年産オランダ産百合についても若干…)

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

9月3日夜から、オランダ/フランスへ出張します。圃場生育調査・現地植防・球根生産団体打合せが主目的です。
9月12日に帰国。9月13日より会社出勤いたします。

帰国後、状況がさっぱり見極められない14年産オランダ産百合球根について、ご報告いたします。

14年産オランダ産について

2014年8月31日までにご注文いただいた球根については、1EURO=¥139.0-にて原価計算・円貨確定いたします。

(一部FOB価=当社仕入価格が決まっていないものは後日)

受注時の平均レートはT T Sレートベースで(新聞/報道で皆様が見ているレートはT T Mレートです)、1EURO=140.94-でしたのでまずまずの為替管理となった様です(2014年2月1日~8月31日期间)。

ホッとしています。

何年振りだなあ〜。

9月1日以降新規受注分については、仕切り直して別レート適応になろうかと思えます。

円安が進むように見えますが、それはあくまでも「USドル」に対して…実は「EURO」も「ドル」に対して若干EURO安の様です。

従って、今後の「円/EURO」が円高なのか円安なのか分かりません。円高/円安、どちらに転んでも対応できる様、合わせて早期にご注文いただいた方にも納得頂く様に対応しているつもりです。

よろしく願い致します。

6~8月は、オランダ/日本の輸入業社間の取引はほとんどなかった様子。

同様に、オランダ球根農家/オランダ輸出業社間の取引も静かなものだった様です。

9月中旬~10月上・中旬にかけ、掘り取り予測が出始め、世界の球根消費状況・次年度の予約状況に合わせて活発な取引が再開されます。

現地調査後、最新情報をお繋ぎいたしますので、もうしばらくお待ちください。(なお、最新在庫表は完成次第郵送いたします。)

13年産オランダ産百合

7月末までの日本の入荷量は、前年比約5%減少(当社は、関東甲信地区大雪被害の影響で約9%減)

O.H/O.T系の入荷量は、前年比横ばいから微減。(当社でさえ2.5%減程度。)

A.H/L.A系の入荷量は、前年比大幅に減少。(当社の場合は大激減、約18%)

深谷地区の生産量減少の影響だけでなく、A.H/L.Aは、全国的に生産量減少となっている様です。近年の切花価格が安かったのです。やむを得ないのでしょうか…。

そんなわけで、当社在庫はほとんど残っていませんが、必要ならば是非お問い合わせください。

8月は、切花相場が良かったですね。(ちなみに去年の8月もまずまずだった…。)

このまま12月いっぱい続いてほしいものです。

遂に裏年/表年の相場原則が崩れますかね…。崩れるべきなのです！

14年産南半球産在庫表送付について

近年の南半球産輸入状況(輸出業社からのアンケート調査)							
年産	A.H/L.A		O.H/O.T		合計	植防データ	誤差率
2010	2,954,150	球	23,125,930	球	26,080,080	25,924,660	+0.6%
2011	3,798,625	球	23,239,200	球	27,037,825	27,235,915	-0.7%
2012	4,270,575	球	23,837,350	球	28,107,925	27,854,465	+0.9%
2013	4,299,500	球	22,997,005	球	27,296,505	27,194,635	+0.4%
2014 3月末調査	3,482,600	球	24,156,500	球	27,639,100	-----	
2014 8月末調査	3,325,175	球	22,842,625	球	26,167,800	-----	

A.H/L.Aの減少は、埼玉深谷地区の減少分とほぼ同等となる様子。

N.Z産を中心に深谷キャンセル分は、輸出業社の努力でベトナム/コロンビア等に転売された。

良かった！大変な迷惑をかけたと思っていたので…。

O.H/O.Tについては、3月末調査時点で、24,000,000球+α。

深谷地区だけで±500,000球以上のO.H/O.T系がキャンセルされていたはずなのに、発注確保数がとてつもなく大きく見えた…。(07年産で±24,000,000球のO.H/O.T輸入実績がある。翌年08年の切花相場…覚えてますか?)

その後の本年4~6月期の切花相場を勘案すれば、今回の8月末調査数である22,850,000球は、妥当な数に見えます。(まだちょっと多いかなあ～。)

38/39協力市場統計を見れば明らかなように、裏表年の裏年は、切花流通量が増加しているケースが多い。

「リーマンショックが…」「大震災が…」「沖縄の菊が…」「消費税が…」と分析していますが、日本の球根業社は、「38協力市場様の統計」を分析するケースが少ない様です。

これ以上日本へのお荷球数が増加しない事を願っています。

もう一度業界の輸入適正量(マーケットキャパシティ)を見極め直したほうが良い時期ですよ。

*12年産カブラカ養成球は、25~35%の欠品でした。

従って、13年産国産カブラカの切花用球数は少ない。結果、カブラカだけでなく、ベリアを除く(カブラカとは関係ない?)上向き白O.H/O.Tも8月では切花市況大健闘…(近年8月はカブラカが安かったですからね…球根が減れば、一番安い時期を減らしますよね!)

今となっては、「南半球産球根」は、それだけで儲かる球根・儲かる品種ではなくて、オランダ産でも分類が進んできている「各々の作型に合わせたコンディションの球根」くらいの捉え方で扱われるべきだと考えます。(とくにそうしている会社の方が増えてきていますけどね…)

22,850,000球のO.H/O.T系入荷量とは、2000年代半ばのまだ南半球産の球根で切花すれば「それだけで儲かるのではないかと」皆が思っていた…信じていた頃のお荷球数です。

南半球産球根を取扱う輸出業社には、申し訳ありませんが、これくらいの球数が日本の総輸入数であって

くれと願っています。(本当は、22,000,000球以下であがりたいたいんだけど…。だって深谷地区のキャンセルがあったのに…。)

N.Z産のループが、現地輸出業社レベルで大変余っているみたいです。(深谷キャンセルの影響と、前年・前々年不足の為、生産量を増加させてしまっていた。相手方も計画が甘いと思います。)

*国内に入荷されるであろう流通在庫を減らしましょう！(当社在庫は残り少なくなりましたが、是非導入検討願います。)

埼玉深谷報告

先日深谷地区、系統販売で、百合の切花を行っている農家の皆様と復旧/復興計画、再建計画・再建スケジュールについての会議がございました。

来年4月をめどに販売(共選販売)の一元化を図る計画の様です。

再建規模は被災前の約88%(面積)。再建した温室が稼働し始めるのが来年の4月以降。完全稼働開始が8月以降となる様です(当初は70~75%の再建規模と言われていた)。

来年の4~7月までは、切花供給量の乱高下が続くと思われます。

一刻も早くA.H/L.Aの安定供給が復活することを願っています。

90%の補助率だと言われていましたが、建設単価があまりにも高騰している為、実際の補助率がかなり低くなってしまふ様子。

推定約3億4千万の出荷額の減少が「2014年2月中旬~2015年4月中旬までの間」で見込まれている。

*何としても健全な切花流通状況を作ってほしいと願っています。

8月29日に「21市場様」が深谷地区にて会議に参加されておりました。

詳しくはそれらの市場の方からお聞きください。

*災害発生時には、全国の百合切花産地の皆様、そして市場の皆様には、ご心配をおかけし、様々な意味でご協力いただきまして、大変ありがとうございました。(球根業社として…、大変感謝いたします。)

以上

不明な点等ありましたら、お問い合わせください。

P. S

津南地区試験栽培面白かったですよ！

来月からの魚沼バージョン…ぜひお越しく下さい。

森山 隆



<http://www.lily-promotion.jp/>

私共はLPJの趣旨に賛同し
協力・応援しています